

15 CT・MRIの放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合

▶ 項目の解説

高度な画像診断をより早く、より正確に行っていることが、高度な医療を提供する病院の基盤です。そのため、放射線科医による読影レポートが翌営業日までになされた率を指標とします。

この算式は画像診断管理加算2の算定要件(80%以上)となっているところですが、その基準達成に満足せず、より高い実施率を評価するものとします。CT・MRIは診断目的ではなく、治療効果の確認、病態変化の有無の確認等で短期的に繰り返し撮影される場合もあり、必ずしも放射線科医による読影を要しない状況もあるので必ずしも100%となるものではありませんが、実施率がより高いことが望まれます。特に、CT・MRIが放射線科医の管理の下に適切に行われていることを示す指標でもあります。

▶ 定義

CT・MRIの放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終えた率。

「放射線科医」とは画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。

算式

(歯科を含みます)

分子: 翌営業日までに放射線科医が読影したレポート数

分母: CT・MRI検査実施件数

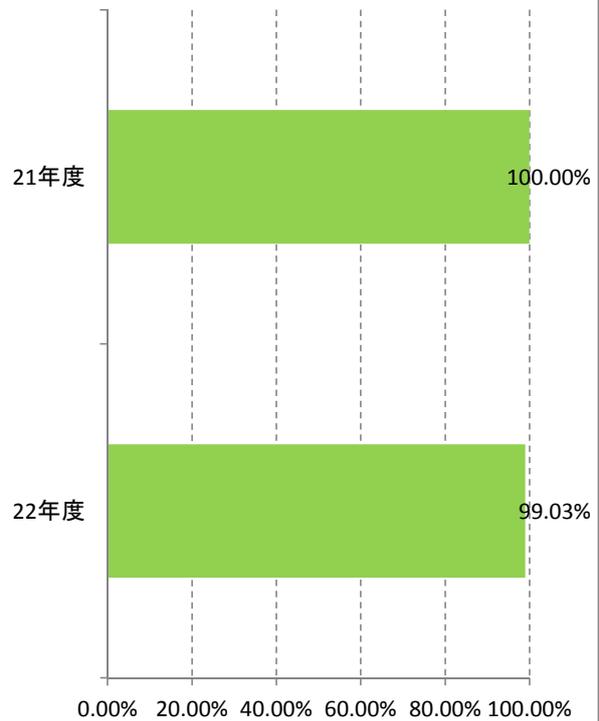
単位

%

期間

年間

CT・MRIの放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合



16 核医学検査の放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合

▶ 項目の解説

指標15と同様に、適切な画像診断がなされていることを評価する指標です。加えて、核医学検査が放射線科医の管理の下に適切に行われていることを示す指標でもあります。

画像診断管理加算2(80%以上が算定要件)の施設基準を取得していない大学は数値が必然的に低くなります。

▶ 定義

核医学検査の放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終えた率です。

「放射線科医」とは画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。

算式

(歯科を含みます)

分子: 翌営業日までに核医学診療科医がレポート読影したレポート数

分母: 核医学検査実施件数

単位

%

期間

年間

核医学検査の放射線科医による読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合

